

「Stay hungry, stay foolish.」

1. ジョブズ氏に学ぶ

8月25日、アップル社のジョブズ氏がCEOを引退して会長になる事が話題を呼びました。同氏は、Macで一時代を築いた後、アップル社を離れていて窮地に落ちた同社をiPhoneやiPadで再度立て直した事で世界的に有名な方です。私は、これ位の事しか知らないのですが、このCEO引退ニュースで、彼が、2005年、スタンフォード大学の卒業式で行ったスピーチが取り上げられていました。それは、「Stay hungry, stay foolish.」という結びの言葉なのです。

「Stay hungry, stay foolish.」、その意味は「ハングリー精神をいつまでも忘れるな、そして、バカになって無心で働け」という風な事のように思えます。時価で世界一の会社に導いたジョブズ氏の言葉として意味があるのです。私は、サラリーマン時代、アメリカ経験の豊富な故十河専務に「トッチャン、ぐだぐだ言うな、アホになってやろうや」と諭されたことを思い出します。まさに、同じ言葉なのです。という事は、日本では新鮮な響きがありますが、アメリカ社会ではよく使う言葉かも知れないのです。この経験があるから心に響いたのです。また、故福井社長からは「栩野君、ゴルフは上ってナンボだよ。途中が良いからと言って有頂天にならないように」と諭された事も思い出します。私は、よき先人に恵まれたと感謝しています。

さらに、インターネットで調べると彼の事が紹介されていますが、現実には、「ジョブズする」と言うのと「クビにする」と同義語というように超ワンマンであり、ある人のアイデアを聞いた時は懐疑的な反応をしておいて、1週間後、自分のアイデアのように発表するというキタナイやり方も書かれています。これは、別のところでは、『方向を間違えたり、やりすぎたりしないようにするには、まず、「本当は重要でも何でも無い」1000のことに「ノー」と言う必要がある』とあるように、何度も「ノー」と否定した上で、それでも残った物を採用して来たことが伝えられているのです。このように、大成功する人には「強いアク」があるのです。それがカリスマ性の素かも知れないのです。

このように、「Stay hungry, stay foolish.」と「強いアク」の2つが印象的なのです。私には、前者が出来ても後者は難しいのです。どうしても「良い人」でありたいのです。日本の政治家では小泉さんが、「Stay hungry, stay foolish.」と「強いアク」の2つを持ち合わせた最後のカリスマ政治家だったかも知れません。

最後に、「あなたの時間は限られている。だから他人の人生を生きたりして無駄に過ごしてはいけない」というジョブズ氏の言葉を紹介したいと思います。「他人の人生を生きる」という事は非常にサラリーマンにとって厳しい言葉であります。サラリーマン社会では、ある一定の地位からは「会社」か「個人」に奉仕する・悪く言えば、魂を売る・事が重要になります。ホンマに人間性を殺して「役」に徹することを求められるのです。私は、43才の時、ある人事で自分の生活が変わる時に、友人の「人生は2度ない。思う通りに生きたら」という言葉で後押しされて、今の道に進んだ訳です。この時、私は辞表に「福井社長は、クルマの道。私は、システムの道を歩みたい」という旨を書いた事を思い出します。その後、3年間、関連会社に勤務した時に「船井総研客員経営コンサルタント」の資格を得て、平成7年7月に独立して、今の会社を創業したのです。確かに「自分の道」を歩んでいますが、それには別な苦勞があるのです。まさに、「Stay hungry, stay foolish.」が重要だったのです。また、この16年の経験を通して、自分の器が大きくなったと思うようになりました。「ちょっとの差」は、一つの集大成と思っています。

【AMIニュースのバックログは<http://www.web-ami.com/siryu.html> でご覧になれます！】